

川西市北部地域のまちづくり方針(案)に係る

意見提出手続結果

- 1 意見募集期間：令和6年1月15日（月）～令和6年2月13日（火）
- 2 意見提出人数：49人
- 3 意見提出件数：54件
- 4 提出意見については別紙のとおりです。
お寄せいただいた意見は、それぞれの項目に分類し記載しています。
ただし、個人等が特定される箇所や内容が募集対象に合致しない意見については、記載していない場合があります。
- 5 意見提出者の氏名については、個人が特定されないことがないよう、AからAWのアルファベット表記に変えて「提出者欄」に記載しています。

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
1	【資料2-2(概要版)】 「全体」	<p>○北部地域のまちづくり方針(案)の【概要版】に対する意見 * 北部地域のまちづくり方針(案)の本文には、策定の背景や目的、北部地域の現状と課題などきめ細かに記載されているが、パブリックコメントを概要版で判断する場合のための意見とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部地域のまちづくりを標榜するのであれば、まちづくりの全体像をわかりやすく明記することが必要と考える。概要版には、北部地域の主な現状・主な課題が上段に少し記載されているが、それらから見た、望ましいまちづくりの全体像がどうあるべきか、全体的なまちづくりに対する方針説明が必要。 ・各エリアの整備計画(北消防署周辺・旧市立川西病院・北消防署多田出張所周辺・新北消防署予定地・その他)が大きく全面に出ているため、北部のまちづくりよりもエリア整備のための計画との印象が強くなっている。 ・各エリアの整備計画は、あくまでもまちづくり全体像の中に位置付けられるべきであると考えられる。 ・少なくとも、概要版紙面の1/3程度は、まちづくり方針の説明があれば各エリアの整備計画とのマッチングが理解しやすい。 	<p>概要版は資料2-3(本編)の主要部分が端的に分かるよう整理したのですが、ご意見を踏まえ、今後更新する市ホームページのスペースを活用して、策定に至る背景や目的など、読み手にとって分かりやすい情報を補足します。</p>	AL-1
2	【資料2-2(概要版)】 「エリア1」	<p>災害時にペットの同伴避難ができるようにしてください。 ペットも大切な家族です。是非実現してください。</p>	<p>ペットを飼育している家庭と飼育していない家庭双方がペットの防災対策について理解を深めるため、専門家の協力を得て、まちづくり出前講座や地域での防災訓練の機会を活用しながらペットと避難する際の注意事項やペット避難の取扱いなどを啓発するとともに、安心して人とペットが避難できる環境整備に努めます。</p> <p>なお、平時における施設の活用は、施設の設備機器の状況や他の活用意見も参考に検討を進めます。</p>	D-1
3		<p>災害時にペットと同伴で避難出来る体制を整えて欲しいです。</p>		E-1
4		<p>災害時にペットを同伴出来る避難所があれば嬉しいです。</p>		F-1
5		<p>災害時にペット同伴で避難できる避難所の設置をお願いします。元旦のJALの事故でも、手荷物と同等の扱いのためペットが犠牲になりましたが、ペットロスという言葉が周知される程、家族の一員として強い絆を感じている飼い主は少なくありません。</p> <p>アレルギーの問題などもあり難しいとは思いますが、ペットと共に避難できる避難場所の確保を是非お願いいたします。</p>		G-1

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
6	【資料2-2(概要版)】 「エリア1」	<p>【エリア①(北消防署周辺)】</p> <p>災害時にペットを同伴できる避難場所機能を希望します。現在ペットを飼われている世帯は多くあります。昨今の災害の際に、「ペットがいるので避難しない(できない)」という選択をされるケースもよく見受けられます。ペットがいるという事で人が守られない現状を感じます。</p> <p>今の時代、ペットを家族と考える方も多し中、同行避難場所がない現在の川西市は時代のニーズにマッチしていないと思われます。この機会に、ぜひ「ペットを同行避難できる避難所」を希望します。</p> <p>また、その場所を利用しない時は、市内にも溢れている「のら猫」の譲渡会場として使用したり、啓発の場として使ったりなど、人にも動物にも優しい市であって欲しいと願います。</p>	<p>ペットを飼育している家庭と飼育していない家庭双方がペットの防災対策について理解を深めるため、専門家の協力を得て、まちづくり出前講座や地域での防災訓練の機会を活用しながらペットと避難する際の注意事項やペット避難の取扱いなどを啓発するとともに、安心して人とペットが避難できる環境整備に努めます。</p> <p>なお、平時における施設の活用は、施設の設備機器の状況や他の活用意見も参考に検討を進めます。</p>	H-1
7		<p>【エリア①】</p> <p>一般の避難所にペット同伴は難しいので、災害時にペットを同伴できる避難所希望です。ペットの種類によって部屋を分けるなどの工夫が必要です。緊急事態以外の時は地域の活動スペースとして、動物の里親さんを見つける為の譲渡会を定期的で開催出来るようになって欲しいと希望します。</p>		I-1
8		<p>緑台にある多田出張所の跡地をペット同伴で避難できる場所として活用してほしいです。</p>		J-1
9		<p>災害時にペットと一緒に避難できる避難所が欲しい。</p>		K-1
10		<p>ペットと一緒に避難できる施設を作りたいです。</p>		L-1
11		<p>災害時にペットを同伴して避難可能な避難所が無いので、今後、地震や豪雨、地滑りなどの災害時に市民が避難しなければならない時、ペットを置いて行けないため、避難しない方々が必ずいらっしやると思います。現在の所、市民の多くがペットを飼っているのではないのでしょうか。ペットを同伴可能な避難所が人間の安全のためにも必要です。シェルターのような、ペットを同伴した飼い主さんたちが安心して避難することの出来る避難所が何ヶ所か必要だと思われます。</p>		M-1

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
12	【資料2-2(概要版)】 「エリア1」	【エリア①(北消防署周辺)】 災害時にペットを同伴できる避難場所機能を希望します。現在ペットを飼われている世帯は多くあります。昨今の災害の際に、「ペットがいるので避難しない(できない)」という選択をされるケースもよく見受けられます。ペットがいるという事で人が守られない現状を感じます。今の時代、ペットを家族と考える方も多い中、同行避難場所がない現在の川西市は時代のニーズにマッチしていないと思われます。この機会に、ぜひ「ペットを同行避難できる避難所」を希望します。また、その場所を利用しない時は、市内にも溢れている「のら猫」の譲渡会場として使用したり、啓発の場として使ったりなど、人にも動物にも優しい市であって欲しいと願います。	ペットを飼育している家庭と飼育していない家庭双方がペットの防災対策について理解を深めるため、専門家の協力を得て、まちづくり出前講座や地域での防災訓練の機会を活用しながらペットと避難する際の注意事項やペット避難の取扱いなどを啓発するとともに、安心して人とペットが避難できる環境整備に努めます。 なお、平時における施設の活用は、施設の設備機器の状況や他の活用意見も参考に検討を進めます。	N-1
13		災害時のペット同伴は必要です。人もペットも少しでも気を使わないように出来ることはありがたい。どれだけ入れるのかわからないけれども、安心する人はたくさんいると思います。また、災害がない場合は動物の譲渡会等に使えるように考えていただくと、益々不幸な動物たちを助けることにもなると思います。是非とも取り入れて、優しい市でありますようお願い致します。		O-1
14		【災害時のペット同伴避難の件】 大きな災害がある度に人はもちろんですが、ペットも被災しています。同伴で使える避難所は必要です。犬と猫の飼い主が別れて居られるよう最低限の機能は必要。専門家の意見を聞き使い易い施設ができる事を希望します。また、普段は犬猫の譲渡会場として貸し出す等、貸し施設としても幅広く活用されたら良いと考えます。		P-1
15		【エリア①の「④災害時にペットを同伴できる避難所機能」について】 是非作って頂きたいです。動物愛護の観点だけでなく、ペットを家族として暮らしている方達の精神面、健康面にとっても有意義と思います。実際に使用する場合の設備、運営方法などもしっかり考えて頂きたいと思います。		Q-1
16		災害時にペットを同伴出来る避難所を要望します。能登半島地震をみても、ペットが居るから危ないけど家に留まったり(孤立集落で皆避難したが1人留まった人も)、車中泊の人、動物病院や保護施設で預かっている子も多いとか。元気な子ばかりではありません。老齢の子も居ます。我が家にも小型犬でシニアの室内犬が居ます。この子を置いて行く事は出来ません。外に繋いでおく事はできません。離ればなれにはなれませんが！ 同伴避難所を切に要望します！《助かった命 共に》		R-1

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
17	【資料2-2(概要版)】 「エリア1」	<p>【エリア①について】</p> <p>東谷における山下駅から国道173号沿道周辺は、地理的にも歴史的にも東谷の地域核の中心であり、その中でも、北消防署や東谷幼稚園周辺は、最も重要な公共公益エリアであり、この土地利用の在り方が、東谷の今後のまちづくりの成否を分ける重要なポイントであると思います。</p> <p>このような観点から見ると、現在のエリア①(北消防署周辺)の提示された方針では、全く不足であります。まず、ゾーンは「子ども・若者ゾーン」と標榜されていますが、悪くはないですが、これでは不十分だと思います。</p> <p>①ここは、「子どもから高齢者」まで全ての人々のゾーンとすべきであります。また、配置機能も、今掲げられている機能に加えて、すべての人たちの居場所機能と交流機能を大きく付加すべきであると考えます。</p> <p>②また、隣接する東谷幼稚園の募集停止により、東谷での幼稚園機能の利用希望者は少なく見ると130名程度、多く見ると150名ほどにもなるという予想にも関わらず、現行の東谷地区での幼稚園定員は66名しか無く、広大な地域の東谷にとっては、園児は、はるか遠くまで通わねばならないと言う事態が続くこととなります。これの対応について、市行政として、東谷の地域的特異性を勘案して真摯に考えるべきであります。市立での3年保育が無理なら、私立での認定こども園の誘致に市は取り組むべきと考えます。</p>	<p>①エリア①(北消防署周辺)、エリア②(旧市立川西病院)については、ご意見のとおり地域の活動スペースや誰もが集い遊べる公園の整備に加え、様々な用途に対応できるフリースペースを設けるなど、多世代が交流できる場の創出をめざします。</p> <p>②就学前の子どもの人口は年々減少しており、今後もこの傾向が続くものと見込んでいます。また、1号認定(幼稚園機能)のニーズの減少、2・3号認定(保育所機能)のニーズの増加が顕著であることから、1号認定の定員を拡大することは考えていません。ニーズが増大する2・3号認定の対応については、中学校区ごとの待機児童・国基準外の入所保留児の状況も見ながら、民間による定員拡大を進めています。</p> <p>令和5年度には、私立の認定こども園・保育所の公募を実施したところですが、入所保留児が市南部に比較的多い状況などを踏まえ、東谷地区における選定施設はありませんでした。また、この取組などにより市全体として保育に係る定員拡大を図ることとしていますので、現時点で東谷地区に限定して教育保育施設を誘致する予定はありません。</p>	T-1
18	【資料2-2(概要版)】 「エリア2」	<p>【エリア②(旧市立川西病院)】</p> <p>公園と福祉総合施設を新設されますが、そこは4-2北部地域住民が思うありがたい姿が実現可能かと思えます。</p> <p>福祉総合施設の詳しい内容がまだ分かりませんが、大きめの公園だとキセラ川西せせらぎ公園みたいに子育て世代～高齢者の方々まで楽しまれています。せせらぎ公園にはカフェがありませんが、隣接の総合医療センターにはレストランがありますね。総合福祉施設にキセラ丸のような使い勝手が良いスペースを設定されてはいかがでしょうか。障がい者の方の施設も設置はどうですか？少し歩けば道の駅風の施設も設置されますよね。</p> <p>旧阪急オアシス山下店跡地に商業施設等が出来れば、地域核に近いエリアになる可能性があると思います。色々な機能集約で、キセラ川西地区になんとなく似るのかなと。公共交通機関のアクセスがもう少し良ければと思う。</p>	<p>市立川西病院跡地に整備する福祉複合施設については、公募型プロポーザル方式により整備事業者を選定することとしています。障がい者(児)を支援する機能の整備を必須とするとともに、事業者選定の評価において、地域交流を積極的に実施する提案について加点することとしています。</p> <p>また、北部地域の移動に関しては、市公共交通計画の中で、市民・交通事業者・市が連携しながら課題解決に向けた取組を進めます。</p>	U-1

意見 番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
19	【資料2-2(概要版)】 「エリア2」	<p>【エリア②について】</p> <p>③旧市立川西病院については、医療・福祉ゾーンとして、医療については、川西リハビリ病院が開設されており、福祉については、福祉複合施設を整備するとして、令和4年度夏に活用策についてワークショップが開催され、市は前提となる基本的考えとして、地域包括ケアシステムの拠点とすることと、地域共生社会の実現をめざすとす、ふたつの考えが示されましたが、昨年公表された基本方針の中では、地域共生社会の実現の方向は示されず、半ば放置されたかに見えますので、このことについて、基本構想、基本設計の段階では、市は事業者の提案まかせにせず、地域共生社会の実現のための具体的な取り組み内容を明確に提示すべきと考えます。</p> <p>④次に具体的な意見として、医療・福祉ゾーンに、市が約束した在宅医療の拠点の確保を要請します。このことは、旧市立川西病院を廃止し、キセラに総合医療センターを作る構想の最初の段階から、市の約束である在宅医療の拠点を確保するという項目が果たされないまま、今に至っているからです。</p> <p>このことを踏まえての提案です。市や三師会も参画する形で、令和3年に地域医療連携推進法人 川西・猪名川地域ヘルスケアネットワークが設立されており、この法人を活用して、川西北部と猪名川をエリアとする在宅医療の仕組みと司令塔となる拠点を作ることです。この取り組みこそ、ヘルスケアネットワークが地域で果たすべき本来事業であると考えます。</p>	<p>③旧市立川西病院跡地に整備する福祉複合施設については、公募型プロポーザル方式により整備事業者を選定することとしています。事業者選定の評価においては、共生型サービスを実施する提案や地域交流を積極的に実施する提案等について加点することとしています。</p> <p>④病院改革の当初案で示した北部診療所案では、市立川西病院閉院後の入院機能が確保できない中、北部地域の医療ニーズに応えるものとして外来機能を検討してきたものです。訪問診療や往診などの在宅医療については医師会などと協議し、その普及について検討するとしていました。</p> <p>一方、川西リハビリテーション病院において、市内で不足している回復期病床が確保できたことは、地域包括ケアシステムの構築に資するものと考えています。</p> <p>在宅医療の提供については、地域医療構想の実現に向けて重要な課題であり、開業医の協力も不可欠です。そのため、市が加入している地域医療連携推進法人 川西・猪名川地域ヘルスケアネットワークには川西市医師会をはじめ3師会も参加していることから、その中で引き続き検討を進めます。</p>	T-2
20		<p>○エリア②の旧市立川西病院は、医療・福祉ゾーンとして位置づけ、福祉総合施設を整備するとしている。しかし、「①誰もが集い遊べる公園」「②防災機能を備えた公園」が具体的な配置機能として記載されているのみで、福祉総合施設の内容の記載がない。川西リハビリテーション病院はすでに設置されており、後の福祉総合施設の整備内容は、地元住民にとって関心の強いところであり、是非とも記載を求めたい。</p> <p>・この課題については以前から取り組んできた跡地活用基本方針(2023年3月)の市主催のワークショップで、今後必要な機能として「福祉総合相談窓口の設置」について検討してきたが、これらについても記載が必要ではないか。</p> <p>・本文13ページには記載されているが、多くの場合概要版が情報源となっている。</p>	<p>本方針は、北部地域に存在する「市有施設の跡地活用」をまちづくりの手段の一つに加えながら、北部地域のまちづくりの方向性を示すことが目的であり、今後具体的な機能配置等を検討しながら、各エリアの基本構想を策定します。</p> <p>なお、北部地域に関する個別案件に関しては、各分野の個別計画においてそれぞれの地域課題の解決に努め、適切に対応します。</p>	AL-2

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
21	【資料2-2(概要版)】 「エリア1」「エリア2」	<p>日頃、コミュニティ活動、自治会活動にご尽力賜りありがとうございます。</p> <p>北部まちづくり方針案について、提案、お願いをさせていただきます。</p> <p>①東谷幼稚園もしくは東谷地区の子育て拠点を存続してください。まちづくりを進めるには、こどもの保育、教育の拠点が重要です。こども保育、教育の拠点なくしてまちづくりは成り立たない。</p> <p>②エリア①(北消防署周辺)、エリア②(旧市立川西病院)はそれぞれこども・若者ゾーン、医療・福祉ゾーンと位置付けられていますが、それぞれ多世代が交流出来る施設として考えて頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も若者も、こどもも多世代が交流できる場、世代の違う人の意見を聞ける場を望んでいます。 ・年齢で分けるのではなく、機能別に分けた施設を考えるべきと要望致します。 <p>よろしく願いいたします。</p>	<p>①1号認定(幼稚園機能)のニーズの減少等を踏まえ、東谷幼稚園については閉園等を検討することとしています。また、増加する保育ニーズに対応するため、令和5年度に民間就学前教育保育施設を公募したところであり、現時点において、東谷地区に限定して教育保育施設を誘致する予定はありません。北部地域における子ども・若者への支援としては、特に不登校児童・生徒の居場所機能や障がい児相談支援機能が必要であると考えています。</p> <p>②エリア①(北消防署周辺)、エリア②(旧市立川西病院)については、ご意見のとおり地域の活動スペースや誰もが集い遊べる公園の整備に加え、様々な用途に対応できるフリースペースを設けるなど、多世代が交流できる場の創出をめざします。</p>	S-1
22	【資料2-2(概要版)】 「エリア3」	<p>私は殆ど毎日緑台老人福祉会館で将棋を楽しんでいます。</p> <p>来年ここが閉鎖ということで残念に思っています。この地区で集会場を提供している場所として、この場所以外に自治会館と公民館がありますが、予約なしに自由に利用できる場所はここしかありません。新しい利用の提案ではありませんが、障がい者支援や生涯学習等の利用でこの施設が生き残るのであれば高齢者支援の目的で将棋や囲碁ができる場所を残してもらいたいと思っています。場所は縮小でも良いと思います。運営費削減の負担でやれば良いと思います。小中学生対象と一緒に囲碁、将棋を教える場にしたいのではと思います。</p>	<p>各老人福祉センターについては、社会情勢の変化や高齢者ニーズの多様化などにより、利用者が減少・固定化していることから一定の役割を終えたものと考え、令和7年3月末をもって廃止することとしています。</p> <p>センターの利用を楽しみにいただいている皆様には大変心苦しい限りですが、近隣の公民館や自治会館等の利用をご検討ください。</p> <p>なお、緑台老人福祉センターを含む「エリア3」には、「地域づくりと生涯学習を融合させた活動拠点」や「芸術文化の活動拠点」といった機能の導入を検討しており、高齢者をはじめ、より多くの方々にご利用いただける施設にしていく考えです。</p>	V-1
23		<p>緑台老人福祉センター(一の鳥居含む)にお世話になり3~4ヶ月になる者です。当該地区の居住者ではなく(清和台)知人の「紹介」もあり、利用したい健康機器(電位治療機等)があり登録すればOKということではじめました。センターの職員の方々も親切で、利用者の方々もなごやかな方々も多く、楽しく週2~3日利用させていただいております。</p> <p>さて、地域の新しい方針に基本的に賛同しますが、できればこれまで同様のサービス(健康器具類、図書館、食堂を含め)の継続をお願いします。また、広く利用可能なことも、もっと宣伝されたらと思います。</p>		W-1

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者	
24	【資料2-2(概要版)】 「エリア3」	【老人福祉センターについて】 ・グリーンハイツは高齢化して老人が楽しく過ごせる場所が必要である。現状のように。 ・一人暮らしの人は自宅で風呂に入るよりはみんなの目が届く仲間の中で入るのが安心。入浴料はとるべき。 ・松風幼稚園を児童会館にしてほしい。ミニ図書館も作ってほしい。高齢者も行く事ができ、交流・手伝いもする。	各老人福祉センターについては、社会情勢の変化や高齢者ニーズの多様化などにより、利用者が減少・固定化していることから一定の役割を終えたものと考え、令和7年3月末をもって廃止することとしています。 センターの利用を楽しみにしていただいている皆様には大変心苦しい限りですが、近隣の公民館や自治会館等の利用をご検討ください。 なお、緑台老人福祉センターを含む「エリア3」には、「地域づくりと生涯学習を融合させた活動拠点」や「芸術文化の活動拠点」といった機能の導入を検討しており、高齢者をはじめ、より多くの方々にご利用いただける施設にしていく考えです。	X-1	
25		現在、月に2回高齢者ピンポンをしています。この施設が今後用途の変更が行われると聞いて心配しています。 高齢者のまさに福祉向上のための施設として存続して頂き、今までどおり使用させて頂けるようお願いしています。		Y-1	
26		現在、卓球を月2回しております。乗り物の便がなく、どこにもいけないのでこの場所(緑台老人福祉センター)で体を動かす事が続けられる様にしていただきたいと思ひます。		Z-1	
27		月2回卓球をやらせていただいています。 健康のために楽しく、おしゃべりしながら無理しないで体を動かさせています。この楽しみが続くことを願っています。		AA-1	
28		福祉卓球に在籍して20年近くなり、活動を続けたお陰で健康的にも社会的にもチームメートと交流して楽しませていただいています。この組織が、続くことを望んでいます。		AB-1	
29		【老人福祉センターについて】 今の機能をそのまま残していただき、皆和気あいあいとお話できサークル活動等楽しめる場所であるよう願います。ただ健康であるためにウォーキングマシンとか2、3種類の器具を置いてもらいたいです。		AC-1	
30		私、将棋を指すのを楽しみにしています。緑台老人福祉センターには20年位お世話になっています。以前には川西市市民将棋大会にも参加していましたが、最近はコロナのためなくなり外出の機会が減りました。今後も存続されることを希望します。		AD-1	
31		多様な主体による地域福祉活動等の拠点にしてほしいです。		「エリア3」において、多様な主体による地域福祉活動等の拠点となる機能の配置をめざします。	AT-1

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
32	【資料2-2(概要版)】 「エリア4」	④北消防署と多田出張所の統合の計画がありますが、大きな自然災害、感染症の拡大など消防署は市民の命綱です。救急消防署機能を充実してください。	統合により人員や装備の配置を最適化し、効率的な消防活動ができるよう計画します。 また、専門的な知識や経験を集約・共有することでより高度な対応や訓練を可能にし、緊急事態への迅速な対応や地域社会全体への安全性の向上に努めます。	C-2
33	【資料2-3(本編)】 「5-3エリア3(北消防署多田出張所周辺) (案16ページ)」	<p>5-3エリア3(北消防署多田出張所周辺)に関する意見を申し上げます。 *ここでは④⑤⑧⑫⑬の5項目について提案されていますが、これはこれで結構な事と受け止めています。時間の経過や状況の変化によってその目的も変わっていくものと考えています。 *その上で、緑台老人福祉センター閉鎖(令和6年度末)、北消防署多田出張所の移転が決まりました。この機会をとらえて50年経過した当地域を次の時代に対応できるまちに再構築していかなければならないと考えています。</p> <p>【地域の現状と今後の見込み】 ①市の人口推計報告で当地域は、現在1万4千人を超える人口が2060年には9千人をきり1歳児は80人前後と見込まれています。 ②人口減少は地域交通問題にも大きく影響し、おのずと地区内の阪急循環バスの維持も困難な事態がおきると予想されます。</p> <p>【望まれる姿】 ①人口減少時代にあっても活力ある地域を維持し続ける事。 ②①を達成するため点在している公民館、自治会館を一極(第2自治会館、緑台老人福祉センター、北消防署多田出張所)に集中させ賑わいの場を創り上げる。 ③公民館業務を地域が預かり自治業務と連動させ、結果として運営経費の削減を図る。 ④地域住民の移動にあっては基幹である阪急バスを中心としグリーンハイツセンター(西友前)に住民を集める仕組み(オンデマンドモビリティサービス)を構築する。昼間の阪急バスはグリーンハイツセンターと平野駅のピストン運転で利便性を高める。 ⑤オンデマンドモビリティサービスの実現には多くの課題と向き合わなければなりませんが、可能性を求めて協議して参ります。 ⑥ 緑台老人福祉センター、北消防署多田出張所を地域の施設として利用していく上で、それに相応しい改修・改造を市に要請していく。</p>	<p>今後における各エリアの基本構想を策定する過程で、具体的な機能配置や施設整備の手法と併せて緑台公民館のあり方を検討し、地域の方々と適宜対話を行いながら、施設の運営面を含めた検討を進めます。 また、北部地域の移動に関しては、市公共交通計画の中で、市民・交通事業者・市が連携しながら課題解決に向けた取組を進めます。</p>	AF-1

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
34	【資料2-3(本編)】 「5-6実現に向けた検討体制と今後の動き」 (案17ページ)	<p>③【北部地域のまちづくり方針の推進体制】</p> <p>プロジェクトチームが関係部署の副部長級で構成されているようですが、方針を前に進めていくには、各地域に腰を据えた人材配置が必要と考えます。各地域の公民館(行政センター)の館長を従来のようなリタイヤ世代でなく、北陵公民館のように現役世代の館長を配置して、せっきく現役世代にするなら、区長(昔なら代官)のようにある一定の権限と責任を付与したやりがいある職種に変え、ワンストップの窓口的な存在としてはどうでしょうか。館長が市内の各部署に働きかけたり調整する役割を担うことが、超縦割組織の本市においてはその弊害を少しでも緩和する有効な手段となると考えます。以前、参画協働課において、地域担当職員(リタイヤ組)が配置されていました(現在も?)が、従来の各部署たらい回しに余計なワンクッションが挟まるだけだった反省を踏まえて検討をお願いいたします。いずれにしてもプロジェクトチームは、もっと各地域の様々な場に顔を出して、実情を知るべきと考えます。</p>	<p>再編するプロジェクトチームと関係部署が連携しながらメンバーの知見とアイデアを集結させ、各分野における行政課題・地域課題を見据えつつ、方針の実現に向けてしっかりと取り組みます。</p>	AN-2
35	【その他】	<p>4地区の市施設の活用を街づくりの手段の一つにパブリックコメントが実施されていますが、1つの案として「市担当者と地元住民代表とが一つのテーブルで意見を出し合い、又地元で反省、再協議を行い次のまた次のステージへ進む案」は如何でしょうか。</p>	<p>7月に開催したワークショップの事前説明・結果報告のほか、パブリックコメントの実施期間中にも本方針の中心エリアとなる北陵、東谷、牧の台、緑台・陽明の4コミュニティの方々と広く意見交換を行い、貴重なご意見を頂戴したところです。</p> <p>今後における各エリアの基本構想の策定過程においても、地域の方々と適宜対話を行いながら、具体的な検討を進めます。</p>	A-1

意見 番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
36	【その他】	<p>私は独身女性です。今後私のような一人暮らしの老人が増えると思い、北部病院跡地一帯に一人暮らしの年配者向きのまちづくりをお願いしたいと思います。</p> <p>①ターミナルケア病院施設 ②借農地付公営住宅 ③フリースクール ④犬猫避難施設</p> <p>②についてはまだ元気な老人で農業に興味のある人に米・野菜を作ってもらおう?米・野菜が上手く収穫出来たら買い取ってもらいその分家賃を安くする?買取業者には閑農地の貸主である農家さんまたは第3セクターのような企業さんに間に入ってもらう。収穫が上手くいかなかった人は定額家賃を払ってもらい、引き続き趣味として農地を貸し出す。</p> <p>③の子どもたちにも農業を勉強してもらい、周辺住人との交流を行ってもらおう。また、③のスクールバスを定期的に走らせることにより、老人達の足としても使えるようにする。</p> <p>④はフリースクールに通う子ども達や近辺の元気な年配者の住人に管理して貰う。</p> <p>②の米・野菜は①③④の施設で地産地消してもらおうと考えました。宜しくお願い致します。</p>	<p>本方針の中で、ご意向全てを反映できていませんが、これまでのワークショップ等で共有された数多くの課題やキーワードをもとに分析を行い、北部地域に求められる機能を整理しています。</p> <p>個別の案件については、各分野の個別計画においてそれぞれの地域課題の解決に努め、適切に対応します。</p>	B-1

意見 番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
37	【その他】	<p>①旧川西市民病院の移転は北部の住民は医療への大きな不安を覚えながら生活しています。そこで跡地には若い世代が安心して住みたい地域にするためにも産婦人科や小児科の医療施設が急がれます。また医療センターから離れている地域でもあり夜間診療が可能な診療所の開設はどうしても必要です。</p> <p>②総合医療センターの利用をしやすいとするため北部からの直通バスを早急に実施。</p> <p>③交通空白地対策に具体的な解決策を住民任せではなく市役所として本腰を入れてください。北部は山を切り開いた大規模ニュータウンや住宅団地で形成されています。この地も高齢化が進み、車の運転が不可になるとバス路線のある地域でも減便やルートが利用しにくい現状で、お出かけができにくく、高齢者の健康と生きがい活動が阻害されています。</p> <p>⑤人口減の中、高齢者も若い世代も住み続けたい街になるよう市民から寄せられた願いの方針実現に向け、具体的な解決の方向を示していただきたい。期待しています。</p>	<p>①小児及び周産期医療については、医師の絶対数が不足しており、医師の安定確保に課題があります。市としては、医師をはじめとした医療資源には限界があることから、総合医療センターにおいて医療資源の集約化を図ることで、救急・小児・分娩の受け入れ体制などの充実を図るとともに、地域の診療所と協力連携体制を構築し、病診連携を推進することで、北部のみならず市全体として適切な医療の提供を行うことができていると考えています。</p> <p>なお、要望が多かった内科・小児科については、内科は平日午前及び日・祝日・年末年始に、小児科は平日午前に旧市立川西病院跡地において川西リハビリテーション病院が実施しています。</p> <p>②検査等の紹介患者の移送のためシャトルバスの運行を検討してきましたが、川西リハビリテーション病院にはCT等の検査体制が整っていることからシャトルバスの必要性は限定的となり実施に及んでいませんが、この財源を今後検討して、様々な北部対策の費用として活用します。</p> <p>③北部地域の移動に関しては、市公共交通計画の中で、市民・交通事業者・市が連携しながら課題解決に向けた取組を進めます。</p> <p>⑤再編するプロジェクトチームと関係部署が密に連携し、方針の実現に向けた取組を進めます。</p>	C-1

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
38	【その他】	<p>【第1章 方針策定の背景と目的】 昨年12月営業終了されたケーブル、リフト及び妙見の森関連施設の廃止・撤退後の方向性や課題についての記述が見当たらないが、多少は言及した方がいい。 また、本市においては、旧市立川西病院や公立保育園など相次ぐ北部の市有施設の移転・撤退・廃止といったネガティブな動きが顕著にみられる傾向にあるため、方針の中に、現在計画が浮上している東畦野の道の駅に関する事例や日本一の里山を活かしたプレーパークづくりの施設利用の可能性など、北部地域に前向きで明るい未来をもたらす方向性を盛り込んだものにしてほしい。併せて、モルックドームや石道温泉といった地域活性化の一助になりつつある既存資源も活かした具体的な事例を明示したうえで、市民各人が取り組みやすく、且つ関わりやすい方針の設計にしてほしい。</p>	<p>本方針は、北部地域に存在する「市有施設の跡地活用」をまちづくりの手段の一つに加えながら、北部地域のまちづくりの方向性を示すことが目的です。 個別の案件については、各分野の個別計画においてそれぞれの地域課題の解決に努め、適切に対応します。</p>	AE-1
39		<p>高齢化が進んでいるグリーンハイツですが、この数年10歳未満の子どもも徐々に増えてきました。地域内にはボール遊びができる公園も少なく、児童図書館もありません。自治会の世代交代も少ない中、児童対象の施設を充実し、子どもの御両親にも地域活動に理解をいただいて、自治会の活動に関心を持っていただくことが急務と考えています。どうか児童向けの施設に予算を割いていただくようお願いします。</p>	<p>地域活動などを通じて子どもの育ちに多世代の人々が関わり、社会全体で子どもたちを健やかに育むことは重要であると考えます。 市では、各中学校区に地域子育て支援拠点を配置するなど、児童に関する施設や施策について重点的に取組を進めてきたところですが、 また、子ども・子育て支援など児童に関する施設・機能については、現在の配置状況やニーズを踏まえて検討を行い、北部地域に設けることが有効で、かつ優先度が高い機能の配置をめざすこととしています。そのため、子ども施策の中でも、不登校児童生徒が全市的に増加している状況等を踏まえ、北部地域において不登校児童生徒を対象とする居場所について検討を進めることとしています。</p>	AG-1
40		<p>北部地域の公共施設や自治会等が管理する公共的施設は、十分な駐車場が無い施設も多く、利活用する上で支障となっているように感じます。新しい施設の建設にあたっては、近隣住民以外にも広く広域的な利用に対応できるよう、十分な駐車スペースを確保していただきたい。</p>	<p>駐車スペースについては、今後における各エリアの基本構想の策定過程で、具体的な機能配置や施設整備の手法と併せて検討を進めます。</p>	AH-1
41		<p>陸上競技場等施設を一の鳥居の開発されている場所にできれば、新たに森林を破壊することなくいいと思う。すでに開発計画されている以外の計画がまだできていないところに計画してほしい。あの環境なら駐車料金もいらない施設ができるのではないかと素人考えを巡らせている。学校の放課後クラブ活動の拠点にもなりうるのでは。</p>	<p>当該開発地では、公共事業によるスポーツ施設を整備する計画はありませんが、現在開発事業者と舎羅林山の業務補完地区(交流ゾーン)に市民への還元を想定した整備ができないか協議しており、ご意見も参考に今後検討を進めます。</p>	AI-1

意見 番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
42	【その他】	各施設やフリースペースはもとより、公園も禁煙とすべきである。喫煙スペースを設ける際は副流煙を最大限考慮し、子どもから成人まで幅広く煙草による健康被害へ取り組む川西市となって頂きたい。	市の建物を伴う公共施設や公園は原則禁煙です。 また、市として健康づくりに禁煙は大きな効果があると認識しているところですが、喫煙者が一定おられる現状を踏まえながら、引き続き禁煙の啓発や受動喫煙の防止に取り組みます。	AJ-1
43		北部にも生涯学習センターの設立をお願い致します。	生涯学習の拠点として、東谷公民館をはじめ市内の公民館と連携し、令和6年度から「川西市生涯学習アカデミー」を実施します。 また、郷土館等の社会教育施設を活用した生涯学習の場の創出を検討します。	AK-1
44		○その他 ・北部地区には、市立老人福祉センターが2か所あり(緑台・一の鳥居)、R7年3月にセンター業務が終了するため、この際「北部地域のまちづくり方針」に含めた検討を提案したい。 ・従来から老人福祉センターは北部地域にとっては貴重な地域資源であり、地区の公民館事業とともに、地域の活力向上に積極的な役割を担ってきた。この度の「北部地域のまちづくり方針」を機会に総合的な観点から各エリアとの役割分担や連携などで、一体的な整備ができればと考える。	資料2-3の4ページの図表にある「主な市有施設跡地等」については、現時点で活用することが明確なものを記載しています。 図表に記載のない市有施設跡地等は、個別の案件として別途跡地活用を検討する予定ですが、設定エリアに近接した跡地等に関しては、中心となる機能を補完するような役割として、本方針の中で有機的に活用する可能性があります。	AL-3

意見 番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
45	【その他】	<p>①【北部エリア循環型交通の確保】 北部地域にエリア毎に様々な拠点施設や相談窓口をゾーニングするにあたり、北部の各地区を住民が循環できる交通が必要になると考えます。現在は各地区から最寄駅へいくルートや市中心部(川西能勢口)へ行くルートが大半ですが、整備した施設や窓口を利用する住民の足となるような北部地区を循環する環状バス路線もしくは代替手段(コミュニティバス、乗合タクシー、シェアライド等)が求められるのではないかと考えます。北陵地区から東谷中学校へ通学する子ども達の通学手段にも有効ですし、部活動の外部委託が進めば校区外へ部活動に向かう交通手段としても有効と考えます。</p> <p>②【北部地区(特に東谷)の歴史を活用した観光資源の開発】 新名神川西インターによる来訪者が、北部地域で滞留したり、消費を促す観光資源が必要です。2012年から2020年にわたり、主に東谷地域の住民が中心となって能勢電鉄株式会社と連携して、地域の歴史文化を広く発信するイベント「東谷ズム」が開催され、毎年、市内外より多くの方が来場し、Yahooニュースをはじめ様々なメディアに取り上げられ、兵庫県や国土交通省からも表彰されました。その活動で掘り起こされたり、再認識された様々な隠れた歴史ロマンと現在も残る習俗や文化、イベントを通じて開発した特産品(からみの刻、製錬所カレー等)を再活用していけないかと考えます。また、そのメイン会場となった川西市郷土館は、たびたび映画やTVのロケ地にもなっており、通年展示や催事も個性的で一定の来館者を得ているので、もっと有効活用できないものかと考えます。文化財は保存から活用へ文化庁もかなり前に舵をきって各地で国登録有形文化財をカフェや物販スペースにリノベーションする事例が兵庫県下でもあるので、ワークショップでの意見にもあるようなスペース(カフェ、特産品販売、交流)に活用していくのはどうかと考えます。</p>	<p>①北部地域の移動に関しては、市公共交通計画の中で、市民・交通事業者・市が連携しながら課題解決に向けた取組を進めます。</p> <p>②東谷ズムの活動で掘り起こされたり、再認識された様々な隠れた歴史ロマンと現在も残る習俗や文化については、その内容の妥当性を検証した上で活用を検討します。また、文化財であり社会教育施設でもある川西市郷土館については、多様な学びの場としての活用を検討します。</p>	AN-1

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
46	【その他】	<p>成人、特に高齢者を対象とした医療施設はクリニックから総合病院まで多くあります。それと比べて小児科や産科は少ないです。私が川西市に引っ越してきてまだ6年ですが、ベリタス病院、第2協立病院、川西病院と立て続けに小児科?産科が消滅しました。今は近所に一箇所だけある個人のクリニックに頼っていますが、そこも院長が高齢でいつまで続くか不安です。はっきり言って川西市はここ数年で子育てしにくい街になりました。</p>	<p>小児及び周産期医療については、医師の絶対数が不足しており、医師の安定確保に課題があります。市としては、医師をはじめとした医療資源には限界があることから、総合医療センターにおいて医療資源の集約化を図ることで、救急、小児、分娩の受け入れ体制などの充実を図るとともに、地域の診療所と協力連携体制を構築し、病診連携を推進することで、北部のみならず市全体として適切な医療の提供を行うことができていると考えています。</p> <p>なお、小児科については、市立川西病院閉院時に地域からの要望が多かったため、川西リハビリテーション病院において平日の午前に診療を実施しています。</p> <p>また、夜間や休日対応については、伊丹市にある阪神北広域こども急病センターを共同運営し、小児科患者の受入れを行っていきます。</p>	AM-1
47		<p>方針に関する資料を拝見しました。地区の住民が望んでいること等を的確に把握した内容と思います。</p> <p>ただ、北部における幼児保育・教育に関する内容が大きく不足していると考えます。現在は子どもの数にだけの対応では、今後、若い世代に地区を継承していくことが困難と思っています。若い夫婦の世帯をどのようにして呼び込むかの対策に不安を大きく感じています。</p> <p>現状対策も大切ではありますが(高齢者対策)、これを重点的に考えてばかりおれば、北部は間違いなく衰退します。若い世帯を呼び込むための住宅環境・生活環境・保育環境・教育環境等の将来へのいわば投資的な対策と実行・改革をよろしくお願いします。</p>	<p>子育て世代が安心して暮らせるよう、教育・保育の機会や子育て支援サービスを提供するなど子育て環境を整備することは重要であると認識しています。</p> <p>子育て支援施策は、実態やニーズにより全市的に進めるもの、地域的に取り組むものなど様々であり、本方針では北部地域に必要性の高い機能を提案させていただいたところです。</p> <p>今後も引き続き、子どもの幸せにつながる施策に積極的に取り組みます。</p>	AO-1

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
48	【その他】	<p>現在、笹部にて空家を利活用し多世代の学び合いの場創りをしています。不登校のお子さんだけでなく保護者も来られ、放課後には学校帰りに宿題をしに来るお子さんもいます。私たちがめざすのは地域まるごと学校創り。子どもや若者が自らしたいことを見つけ、その実現に向け大人が楽しくサポートする地域の学校です。私たちは地域から世界に飛び出す子ども達を育てたいと真剣に考えています。子どもや若者の夢を育てるためには、子育てするお父さんやお母さんのサポートも欠かせないと思っています。地域のリソース(空き施設や人材)を活用し次のようなプランを提案します。</p> <p>①学校のできる教育と地域のできる教育を棚卸 →学校にすべてを任せるのではなく、例えば体験型学習(経済のしくみを実際に事業者から学ぶなど)等は地域に任せる。</p> <p>②地域の空きスペースは多世代の場とし学校帰りのお子さんや学生等も立ち寄れる場とする。 →地域全員が知り合うことで安全性が増す。自然とコミュニケーションが取れ学び合いが広がる。</p> <p>③子どもや若者が主体となりカリキュラムを提案し大人や行政が実現に向け資金面等のサポートをする。 →高齢化社会を支えるのは今の若者たちであるから彼らの未来を大切にすることが大事。大人たちは子ども達の夢を通して未来を見ることが出来る。</p> <p>④共働き世帯支援のため遅い時間まで子どもを預けられる施設は必須だが、習い事も同じ施設でできる環境にする。具体的には、地域の先生(英語教室、ピアノ教室等)ののちろに行くのではなく、先生自らが施設に教えに来る。スイミングなどはスクールバスの発着場所追加を依頼する。 →習い事の送り迎えの負担や子どもが一人で行くことへの心配が減り、より多くの時間を家族団らんの時間に充てることできる。施設内の部屋数によっては様々な地域の先生のクラスを同時に設置することも可能。</p> <p>⑤施設の設備にもよるがオンラインを活用し他国や他地域との交流を行う。例えば、アフリカで事業をしている私の知人から現地事情のお話など。 →情報の取り方、使い方を身につける必要性は増している。自分にとって必要な情報を見つけ正しく活用するトレーニングは必要。</p> <p>⑥川西市から失われつつある農地を活用し体験学習 →産業は無くとも素敵なのが居る。それが川西だと思います。景観によって心が癒され育つこともある。空家問題があるのに宅地化を進めることは矛盾しています。いかに農地や自然を維持していくか考える機会を増やすべきです。私たちはミニ6次産業体験をプラン化しようとしています。(米作りを行い、米粉菓子を企画から製造及び販売まで行い、その過程で原価計算やマーケティング含め実際に体験しながら学ぶ)</p>	<p>市では、令和6年度から市全域の学校園で学校運営協議会・地域学校協働本部を設置し、地域の方々はその運営に直接参画いただくことで学校園を核とした地域づくりと魅力的な学校づくりをめざすとともに、子どもたちに多様な学びの場が提供できるよう取り組みます。</p> <p>また、ご意見のとおり、学校の教育活動だけでなく学校外での活動においても、子どもたちの活動や支援には地域人材や地域資源の活用が不可欠であると考えており、特に中学生部活動の社会移行に向けては、既に地域や事業者の方々に参画を仰いでいるところです。</p> <p>この度の具体的なご提案については、市として参考にさせていただきながら、実現性が高く、持続可能性のあるものについて、実現に向けた検討を行います。</p>	AP-1

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
49		<p>この話は、回覧板が回ってきて知りました。 意見の締切が2/13です。2/10に連絡がありました。期間が短かすぎると 思います。2点書きます。</p> <p>①市民病院跡地について 内科、泌尿器科、整形外科の最低三科が欲しい。高齢の人たちが多い ので便利だと思います。清和台にあるトナリエのような施設ができれば いいと思います。</p> <p>②高齢者の移動について 大和地区の方から聞いたのですが、高齢者の足が悪くて徒歩にも不 自由な人が増えています。タクシーを手配するのですが人手不足ですぐに 手配できない、前日の予約は受付できない。自治会の会費で手の空い た人が助け合い、マイカーで連れていくなど考えていたにもかかわらず、 タクシー会社から仕事の圧迫になるので辞めてほしいと言われたそう で諦めたそうです。これでは問題の解決になっていないと思うので、高 齢者の生活の実態を含めて細かな対策を打って下さい。</p>	<p>①外来機能については開業医などの民間が支える部分だと考えています。しかしながら、要望の多かった内科・小児科については、内科は平日午前及び日・祝日・年末年始に、小児科は平日午前旧市立川西病院跡地において川西リハビリテーション病院が実施しています。</p> <p>②高齢者を含めた移動課題がある方への移動支援については、市公共交通計画及び高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画(認知症対策アクションプラン)の中で施策を位置づけ、取組を進めます。</p>	AQ-1
50	【その他】	<p>エリア②(旧市立川西病院)は、「医療・福祉ゾーンと位置づけ・・・」とあるが、「土日祝日深夜に受診できる内科ほか」を優先的に開設すべきである。</p> <p>【理由】</p> <p>①旧川西病院を移転する代わりに、北部には開業医が少なく1次救急(初期救急)にも対応するため「24時間内科を含む北部診療所」を開設する約束であったこと。</p> <p>②この約束は、協和会と市が協定を結び、パブリックコメントを募集し、市議会でも確認したこと。</p> <p>③約束が反故にされたため、北部の住民は「病気になったら」という不安にさいなまれていること。</p> <p>④それをすべて無視、覆して「北部診療所」を開設していないので、せめて「24時間診療できる内科ほか」をつくるべきであること。</p> <p>⑤実現するため協和会、晴風園の意向を付度するだけでなく、北部市民の願いを踏まえて折衝し実現すること。</p> <p>⑥以上を優先したうえで、案にある公園なりを検討すること。</p> <p>⑦パブリックコメントを募集しながら、「案」にはない介護サービス事業の誘致が広報に載っていたが、パブコメは形だけのものなのか。これ以上不信が募らないよう、しっかり回答願いたい。</p>	<p>病院改革の当初案で示した北部診療所案では、市立川西病院閉院後の入院機能が確保できない中で、北部地域の医療ニーズに応えるものとして外来機能を検討してきたものです。しかし、市内において不足している回復期病床を確保できる絶好の機会であると考え、川西リハビリテーション病院を誘致することとしました。</p> <p>医師の絶対数が不足しており、医師をはじめとした医療資源には限界があることから、総合医療センターにおいて医療資源の集約化を図ることで、救急の受け入れ体制などの充実を図るとともに、地域の診療所と協力連携体制を構築し、病診連携を推進することで、北部のみならず市全体として適切な医療の提供を行うことができていると考えています。</p>	AR-1

意見 番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
51	【その他】	<p>川西市北部まちづくり方針(案)を読みました。NPO活動を始めて20年になります。高齢の方からの相談も受けております。友達も高齢化し、近所にも親しい方がおらず、一人ぼっちになった。地域で出かけられる場が欲しいなど。</p> <p>物質的には豊かになりましたが、地域の共同活動も少なくなり、寂しい人につながりや居場所を意図的に作る必要が生じています。どんな居場所か。高齢者、障がい者、子どもたち、誰でも多くの人に関われる緩いつながりの場。問題が起きた時につながり先として思い浮かべられる、緩く広いつながりの場。出来れば、日々の生活の動線が好ましい。フリースペース・フードコート・図書室・卓球台・相談窓口・カラオケやボランティア活動にも利用できる部屋等があればいいです。私たちNPOも取り組んでみましたが、中途半端で継続できませんでした。組織も様々な団体が緩く広く関わることで、活動が継続でき、また行政と民間が一緒に取り組むことで効果が得られると考えます。</p> <p>つながりの場が出来たら提案したいのが、プロムナードコンサート(ランチタイムでも可)の開催です。月一回、平日1時間コンサートを開催する。出演はプロの方。ちょっとおしゃれて非日常の時間を過ごす。</p> <p>以上、私たちがやりたくても出来なかったことを実現していただきたく提案いたします。</p>	<p>北部地域にお住まいの方々が将来にわたって快適に過ごしていただくためには、ご意見のとおり、人と人がつながる場所が必要であると認識しています。本方針においても、エリアを限定せず、フリースペースや障がい者の活動拠点などを配置しようと計画しています。</p> <p>また、エリア3には小規模なイベントやグループ活動の発表などを行えるような芸術文化の活動拠点を創出したいと考えています。</p> <p>多世代、多様な方々が集まるきっかけづくりや様々な団体や住民が主体となってやりたいことができるような仕組みづくり、市民団体等との協働など必要な取組を進めます。</p>	AS-1
52		<p>各エリアへの施設配置方針は一定了解できるものだ。ただし、まちづくり方針と名打ちながら、新施設の方向性に矮小化されていて、不十分。</p> <p>以下の柱が必要だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の中、地域交通をどうするか？(交通計画でも将来像がみえない。)適切な補助金制度をどう構築するのか？ ・若者がチャレンジする実験的な地域構想があっても良い。 ・舎羅林山の開発が進んでいるが、どうアプローチするのか。(例 空家活用で、職住近接と活性化の実現) ・川西緑台高校を地域の知の拠点としてどう生かすか？ ・観光地としての地域の活性化で地域振興。 ・猪名川町との連携(施設等の相互利用) 	<p>本方針は、北部地域に存在する「市有施設の跡地活用」をまちづくりの手段の一つに加えながら、北部地域のまちづくりの方向性を示すことが目的です。</p> <p>個別の案件については、各分野の個別計画においてそれぞれの地域課題の解決に努め、適切に対応します。</p>	AU-1

意見番号	意見の分類 (主な該当ページ等)	意見の内容	市の検討結果	提出者
53	【その他】	<p>川西市北部地域のまちづくり方針のパブリックコメント</p> <p>●第6次川西市総合計画にうたわれているキャッチフレーズの「心地よさ 息づくまち川西」の言葉の意味は分かるが、補足説明を入れないと内容が抽象的すぎて、具体的なイメージがわきにくい。方針のポイントを分かり易く説明してほしい。例えば、『商業施設の賑わい、落ち着いた住宅環境、豊かな里山の織りなす心地よいまち 川西。若い人達の活躍がまちをどんどん変えていく、息づくまち 川西。』</p> <p>団地の後背地に自然がたっぷりのダムや里山や県立公園が存在する自治体は、全国的にも貴重である。そこを分かり易く訴求してほしい。</p> <p>●「北部地域のまちづくり方針」が中心のテーマである。</p> <p>北部地域の4つの跡地の活用案については、不動産会社ではないので土地活用をメインにしないでほしい。「北部地域のまちづくり方針案」のなかの「北部地域の現状と特性」に提示されているように“少子高齢化、空き家”問題に直面している。議論の中心は「その他」を中心に検討してほしい。北陵、東谷、牧の台、緑台・陽明コミュニティ共に共通する課題が多い。</p> <p>●少子化の本質的な問題点を考えたとき、川西市は能勢電鉄が市内の中心をはしり、日蓮宗身延山とおなじく、妙見山への参拝電車の意味合いがあった。しかし、宅地開発業者が川西市郊外に目をつけ、約50年前から団地の開発が始まり、一気に人口が増加した。今では、ここで生まれ育った若者が外に出て行き、従来からの住人が高齢化している。世代交代が進んでいないことが真の原因である。</p> <p>現在の高齢者が、夢見て川西市に移り住んで来たように、“子育てに魅力的なまち”にしないとイケない。</p> <p>幸い私は東京都のベッドタウンとなった埼玉県の新所沢市の大規模団地、東京都板橋区の大規模アパート群、東京都内の豊島区のマンション群と住んできたが、川西市が一番落ち着く。それは、落ち着いた住環境と豊かな自然環境が両立しているからである。ウグイスが庭に来て鳴く住宅地はここだけである。ほら、地名に鶯台があるでしょ！</p> <p>パブリックコメントとして、</p> <p>①若いカップル、特に子育ての負担が大きい若い女性に人気のあるまちにする。子育ての医療支援が大きい。</p> <p>②子育て支援のため保育所、学童保育、子ども同士のサークル活動支援の充実。</p> <p>③高齢者、両親、子どもの三世帯が充実した生活を送れるまち作り、交流イベントや教室が多々ある。</p> <p>④川西市の子育て制度の充実を対外へ積極的にPRする。</p> <p>●北部地域の4つの跡地(①北消防署周辺、②旧市立川西病院、③北消防署多田出張所周辺、④新北消防署予定地)について活用の方針案がでている。方針案では、それぞれ候補が2～6案もでている。</p> <p>それほど広大な跡地ではないため、代表的な2案に絞り検討すべきである。実現不可能な案を4つも5つも並べても意味が無い。</p>	<p>本方針は、北部地域に存在する「市有施設の跡地活用」をまちづくりの手段の一つに加えながら、北部地域のまちづくりの方向性を示すことが目的です。</p> <p>個別の案件については、各分野の個別計画においてそれぞれの地域課題の解決に努め、適切に対応します。</p>	AV-1
54		<p>・総合的にはいいと思いますが、どこにウエイトを置くか(年代等)が大切だと思います。</p> <p>・特に高齢者(60才以上)の活躍の場や福祉にウエイトを置いてください。</p> <p>・猪名川町に比べ何かにつけ劣っている様に思えます。</p>	<p>市全体としては子どもが幸せになるための施策を中心に展開していくスタンスですが、地域ごとの実情を踏まえながら、北部地域に関しては幅広い世代に対応した機能配置をめざします。</p>	AW-1